

事業所自己評価結果（多機能型）

公表：令和2年3月1日

事業所名 Orange Kids' Care Lab.

	チェック項目	現状の取り組みや工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
施設・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を遵守したスペース、職員配置数を確保している。	利用状況に合わせて柔軟に適切に対応していきます。公共の場なども活用していきたい。	
	2 職員の配置数は適切である			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建物が古いので工夫して対応しています。	子どもたちが過ごしやすいように環境を整えています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	運営業務内容の改善に向け検討を行い実施しています。	職員の負担を共有できる環境を整えています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	日々の相談や定期的な面談によりニーズをくみ取り、業務改善に取り組んでいます。	定期的に面談も行っていきますが、いつでもご意見いただけるようにしていきます。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページによる公表を実施しています。		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	県内外から多く研修を受け入れており、その内容をフィードバックしています。		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	県内外の研修に積極的に参加しており、学会発表なども行っています。		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	保護者や主治医からの聞き取りをもとにアセスメントを行っています。	計画の更新や見直しが必要なタイミングでも適切なアセスメントを行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	当事業所は重度心身障害児が対象であり、適応行動把握のためのアセスメントツールは使用していません。	特性に応じたアセスメントツールを検討していきたい。これらも子どもたちと一緒に成長と経験を楽しめるような活動を工夫していきたいと思っています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	子どもたちの成長を促していけるようなプログラムを意図しています。四季を感じる活動を大切にしています。		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	特に長期休暇中は、集中して取り組める個人目標を立てています。		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	ケアの内容や状況によって活動の組み立てを行っています。	柔軟さと工夫で集団活動を増やしていきたいと思っています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	送迎により一同に会することは困難ですが、タブレットを活用して打合せや内容の確認を行っています。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	記録も申し送りも各自タブレットで確認し、日々の支援につなげています。		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3～6ヶ月毎にモニタリングを行っています。		
	19 ガイドラインの趣旨の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	様々な視点と目標を持って活動しています。	更に地域交流の機会を確保していけるように取り組んでいきます。	
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	事業所における担当者が参加しています。	多職種が参加できるようにセッティングしたいです。
		21 学校との情報共有（年鑑計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	日々のかかわりや年度末の会議などにより密に連携がとれる関係を築いています。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		常に連絡をとれる体制を整えており、必要な状況の時には主治医に来てもらうことも可能です。	医療依存度の高い子どもが多いので、体調管理や情報の共有には配慮していきます。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		現在該当するケースはありませんが、必要な連携はどのような場合でも行います。		
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		センターが主催する研修に参加するようにしています。		
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		地域の保育園に遊びに行ったりして、積極的にそのような機会を作っています。	交流の場を増やしていきたいです。	
27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		協議会が開催する研修には参加するようにしています。		
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている		送迎の時に年度子どもの状況を伝え合ったり、ノートを活用したりして共通理解を持てるように努めています。		
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		当事業所は重度心身障害児が対象であり、そのような支援は現在行っていません。		
保護者への説明責任	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に初演をお渡しして説明しています。		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	いつでも相談のついでです。必要な場合は、専門職からのアドバイスももらっています。		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	家族イベントは定期的に行っています。保護者のみの集まりは開催していません。	希望があれば、そのような機会も設けられたらと考えています。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情受付担当者を設け、契約時に説明しています。苦情をいただいた場合は、速やかに対応策を検討し対応いたします。		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していませんが、活動の様子や行事予定は写真なども合わせて個々のノートにより伝えています。		
	35 個人情報に十分注意している	個人情報の取り扱いについては、職員全員で徹底しています。		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	子どもたちの状態に合わせ、可視化できるようにするなど工夫して対応しています。		
非常時等の対応	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	事業所で作った物を近隣の方に配布したりして障がいの見える関係を作るようにしています。		
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	各種マニュアルを策定し、いつでも閲覧できるようにしています。		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	職員での訓練を定期的に行っています。	保護者の方にもどのような訓練を行っているのか知っていただけるような機会を設けられたらいいなと考えています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	順次、虐待防止研修に参加しています。		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	当事業所においては、身体拘束をしなければならない場面がないため想定していません。		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	現在該当するケースはありませんが、必要な対応を行っています。		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハットが起きた時には、報告書を作成し改善策を検討し、共有しています。		